

名寄市教育研究大会

「学校力向上に関する総合実践事業」 実践指定校としての取組

平成30年11月14日（水）
名寄市立名寄東小学校 学校力向上係

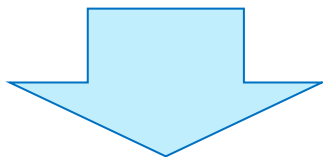
学校力とは？（事業趣旨）

学校改善に関する先進事例や優良事例を十分踏まえ、管理職のリーダーシップの下で全校が一つのチームとなった**包括的な学校改善**を推進し、「学び続ける学校」のモデルを提示することにより、実践の成果の普及に資するとともに、将来の**スクールリーダーを継続的に輩出**する仕組みを構築する。

（学校力向上に関する総合実践事業実施要項より）

学校力事業の目的 その1

管理職のリーダーシップの下で一つのチームとなった**包括的な学校改善**のモデル提示



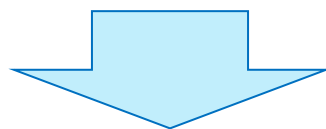
本校では

- ・ 学校が一体となった組織的な力が生む教育力
- ・ 個々の教員の力に過度に依存しないチーム力
- ・ 学校の自己改革力

学校力事業の目的 その2

将来の**スクールリーダー**の輩出

- ① 学校マネジメント
- ② 人材育成
- ③ 教育課程・指導方法
- ④ 地域・家庭との連携
- ⑤ その他



①～④について、包括的かつ継続的な学校改善を
実践し、**その成果を他校に普及できる人材**の育成

学校力の事業の内容

① 学校マネジメント	・ 学校の教育目標の実現に向けた中期、短期のビジョンの明確化と教職員、保護者、地域住民との共有 ・ ビジョンの実現に向けた校内組織の工夫 ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化 等
② 人材育成	・ 若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成を目指した取組 ・ 初任段階教員研修等を自校で実施 ・ 放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ ・ 日常授業の改善に直結する校内研究（研修）の重点化 等
③ 教育課程・指導方法	・ 「カリキュラム・マネジメント」の確立 ・ 学年ごとの最低限の到達目標を設定 ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底 ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法 等
④ 家庭・地域との連携	・ コミュニティスクールの積極的な導入 ・ 児童生徒が勉強と向き合う時間の確保 ・ 社会教育との積極的な連携、社会教育プログラムの活用 ・ 休日や長期休業中等の補充的学習サポートの実施 等
⑤ その他	・ 道立教育研究所、北海道教育大学教職大学院との連携 ・ 学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組 ・ 成果、課題の域内、全道への積極的発信 等

本校の重点化を図る取組

① 学校マネジメント	・ 学校の教育目標の実現に向けた中期、短期のビジョンの明確化と教職員、保護者、地域住民との共有 ・ ビジョンの実現に向けた校内組織の工夫 ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化 等
② 人材育成	・ 若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成を目指した取組 ・ 初任段階教員研修等を自校で実施 ・ 放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ ・ 日常授業の改善に直結する校内研究（研修）の重点化 等
③ 教育課程・指導方法	・ 「カリキュラム・マネジメント」の確立 ・ 学年ごとの最低限の到達目標を設定 ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底 ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法 等
④ 家庭・地域との連携	・ コミュニティスクールの積極的な導入 ・ 児童生徒が勉強と向き合う時間の確保 ・ 社会教育との積極的な連携、社会教育プログラムの活用 ・ 休日や長期休業中等の補充的学習サポートの実施 等
⑤ その他	・ 道立教育研究所、北海道教育大学教職大学院との連携 ・ 学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組 ・ 成果、課題の域内、全道への積極的発信 等

本校の重点化を図る取組

① 学校マネジメント	・ 学校の教育目標の実現に向けた中期、短期のビジョンの明確化と教職員、保護者、地域住民との共有 ・ ビジョンの実現に向けた校内組織の工夫 ・ <u>学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化</u> 等
② 人材育成	・ 若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成を目指した取組 ・ 初任段階教員研修等を自校で実施 ・ 放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ ・ <u>日常授業の改善に直結する校内研究（研修）の重点化</u> 等
③ 教育課程・指導方法	・ 「カリキュラム・マネジメント」の確立 ・ 学年ごとの最低限の到達目標を設定 ・ <u>全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底</u> ・ <u>各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法</u> 等
④ 家庭・地域との連携	・ コミュニティスクールの積極的な導入 ・ <u>児童生徒が勉強と向き合う時間の確保</u> ・ 社会教育との積極的な連携、社会教育プログラムの活用 ・ <u>休日や長期休業中等の補充的学習サポートの実施</u> 等
⑤ その他	・ 道立教育研究所、北海道教育大学教職大学院との連携 ・ <u>学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組</u> ・ 成果、課題の域内、全道への積極的発信 等

学校力向上推進委員会

① 学校マネジメント

- ・ 学校の教育目標の実現に向けた中期、短期のビジョンの明確化と教職員、保護者、地域住民との共有
- ・ ビジョンの実現に向けた校内組織の工夫

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化

研修部より

- ・ 若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成
- ・ 初任段階教員研修等を自校で実施
- ・ 放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ

- ・ 日常授業の改善に直結する校内研究（研修）の重点化

等

- ・ 「カリキュラム・マネジメント」の確立
- ・ 学年ごとの最低限の到達目標を設定

- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法

等

- ・ コミュニティスクールの積極的な導入
- ・ 児童生徒が勉強と向き合う時間の確保
- ・ 社会教育との積極的な連携、社会教育プログラムの活用
- ・ 休日や長期休業中等の補充的学習サポートの実施

等

道立教育研究所 北海道教育大学教職大学院との連携

⑤ その他

- ・ 学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組

- ・ 成果、課題の域内、王道への積極的発信

寺

取組の重点 1

取組の重点 2

学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底

**全校が一つのチームとなって「確かな学力」
を着実に育む取組**

- (1) 現状把握・課題の明確化
- (2) 具体目標の設定
- (3) 目標達成のための方策の明確化と実施
- (4) 目標達成度の評価

学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底

**全校が一つのチームとなって「確かな学力」
を着実に育む取組**

(1) 現状把握・課題の明確化

(2) 具体目標の設定

(3) 目標達成のための方策の明確化と実施

(4) 目標達成度の評価

教務主任 研修部長

学校力向上加配教員

指導方法工夫改善加配教員

学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底

**全校が一つのチームとなって「確かな学力」
を着実に育む取組**

(1) 現状把握・課題の明確化

(2) 具体目標の設定

(3) 目標達成のための方策の明確化と実施

(4) 目標達成度の評価

教務主任 研修部長

学校力向上加配教員

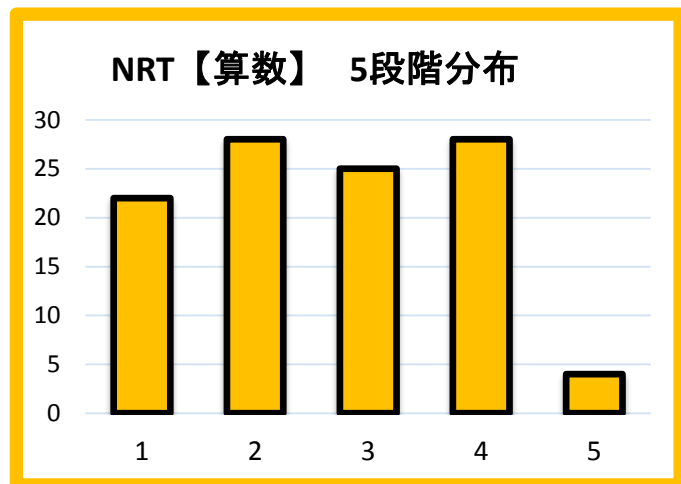
指導方法工夫改善加配教員

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(1) 現状把握・課題の明確化

●NRT標準学力検査の結果より

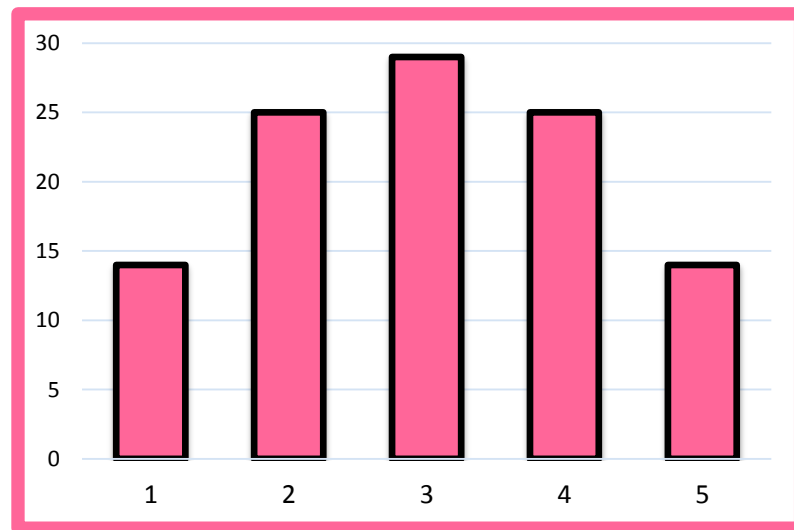
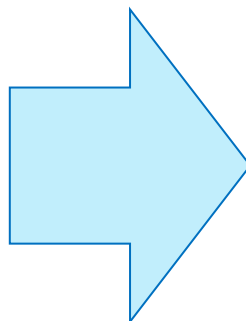
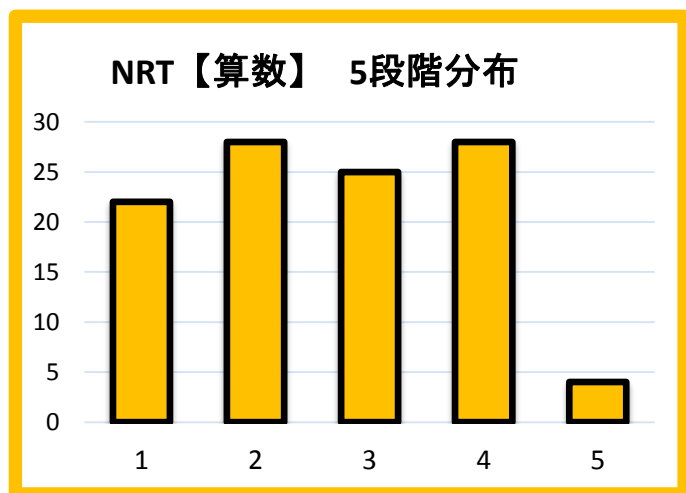


- 低位の児童の理解のために丁寧に授業がすすめられている。
- 理解の早い児童にとっては、待っている時間が長かったり、やることのないまま過ごす時間が見られたりする。

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(2) 具体目標の設定



一人一人の学力向上

下位層の底上げ（評定 1・2 → 3・4）と上位層の向上（評定 3・4 → 4・5）

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(3) 目標達成のための方策の明確化

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。

少人数指導の成果と課題（職員の見解より）

- 習熟度別に分かれることで、**個の課題に応じた内容の学習ができた。**
- 少人数の集団で学習することで、**積極的に発表する機会が増えた。**
- △より効果的な学習になるように、**それぞれのグループのねらいや学習内容を単元が始まる前におさえる。**
- △**単元を見通した指導計画の検討が必要**



TTによる少人数指導の様子

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(3) 目標達成のための方策の明確化

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。

【今後の取組】

A 少人数指導に関するアンケート（児童対象）の実施

- ① 算数は好きですか。
- ② 勉強がよく分かる。
- ③ 手を挙げるが増える。
- ④ じっくり考えることができる。
- ⑤ 分からないことを先生に聞くことができる。
- ⑥ コースが自分に合っていた。
- ⑦ これからも続けたい。

算数アンケート

ざんすう 123 年 名前

算数の学習について答えてください。

	すき	きらい
1 算数は好きですか		

少人数にわかれて学習することについて答えてください。

	とてもいい	いい	普通	あまりいい	あまりいい
2 勉強がよくわかる	4	3	2	1	
3 手を挙げるが増える	4	3	2	1	
4 分からないことを先生に聞くことができる	4	3	2	1	
5 じっくり考えることができる	4	3	2	1	
6 コースが自分に合っていた	4	3	2	1	
7 これからも続けたい	4	3	2	1	

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

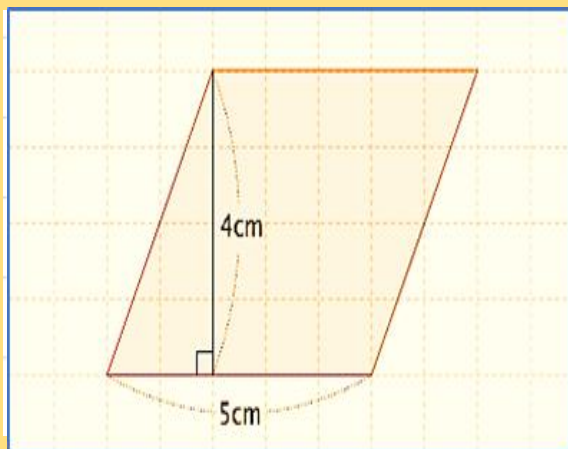
(3) 目標達成のための方策の明確化

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。

【今後の取組】

B 少人数指導のねらいを明確にした単元指導計画の検討

(例) 【習熟度別少人数で、1 単位時間の課題や評価問題を工夫する】



- じっくりコース 図で考えを表し、それを式にして面積を求めることができる。【知・技】
- ぐんぐんコース 式と図を関連付け、多様な求め方について説明することができる。【思・判・表】
 - ① $5 \times 4 \div 2 = 10$
 - ② $5 \times 4 = 20$
 $10 \times 2 = 20$

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(3) 目標達成のための方策の明確化

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。

【今後の取組】

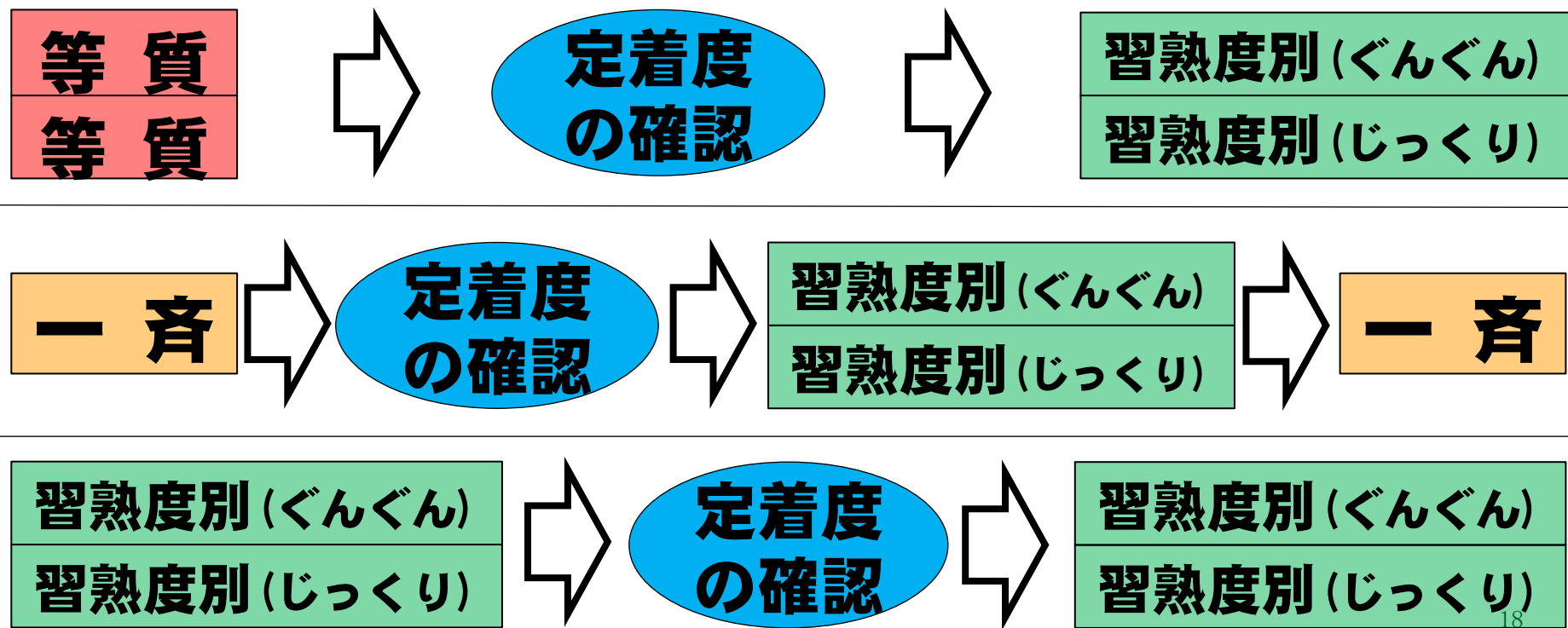
C 指導形態の工夫

取組の重点 1

全校が一つのチームとなって、
「確かな学力」を着実に育む取組

(3) 目標達成のための方策の明確化

下位層、上位層それぞれの学力向上を目指すための
手立てとして、**少人数指導を更に充実**させていく。



学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底

**全校が一つのチームとなって「確かな学力」
を着実に育む取組**

- (1) 現状把握・課題の明確化
- (2) 具体目標の設定
- (3) 目標達成のための方策の明確化と実施
- (4) 目標達成度の評価

教務主任 研修部長
学校力向上加配教員
指導方法工夫改善加配教員

学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底

**全校が一つのチームとなって「確かな学力」
を着実に育む取組**

- (1) 現状把握・課題の明確化
- (2) 具体目標の設定
- (3) 目標達成のための方策の明確化と実施
- (4) 目標達成度の評価

教務主任 研修部長
学校力向上加配教員
指導方法工夫改善加配教員

学校力向上推進委員会 取組の重点 1

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法
- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底



東小学びのスタンダード

- ・ 落ち着いた雰囲気の中で学習に集中できる環境をつくる。
- ・ 学年が上がっても、指導者が変わっても同じ指導ができる。

全教職員で意思統一

学校力向上推進委員会 取組の重点 2

- ・ 学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組

全校が一つのチームとなって「業務の適正化」を図る取組

- (1) 現状把握・課題の明確化
- (2) 具体目標の設定
- (3) 目標達成のための方策の明確化と実施
- (4) 目標達成度の評価

生徒指導部長 保健体育部長
事務管理部長
特別支援コーディネーター

取組の重点 2

全校が一つのチームとなって、
「業務の適正化」を図る取組

(1) 現状把握・課題の明確化

「できることから ひとつひとつ みんなでやる」

① 業務の分担

- ・ 丸付けの分担
- ・ 集計業務の分担
- ・ 係長の選び方
- ・ 教科担任の設定

② 効率化

- ・ データや資料、教材の選定やまとめ
- ・ 優先順位の低い業務の削減

③ 環境整備

- ・ デジタル教科書の導入
- ・ 特別支援用の朱書き教科書購入
- ・ プリンターの増設

④ その他

- ・ 会議の圧縮
- ・ 行事の選定
- ・ 勤務時間の縮減幅を設定

取組の重点 2

全校が一つのチームとなって、
「業務の適正化」を図る取組

(2) 具体目標の設定

●学校評価（中間評価）の職員アンケート結果より

① 業務の分担

- ・丸付けの分担
- ・集計業務の分担
- ・係長の選び方
- ・教科担任の設定

② 効率化

- ・授業の削減

③ 「業務の平準化」

- ・授業
- ・フ

④ その他

- ・会議の圧縮
- ・行事の選定
- ・勤務時間の縮減幅を設定

取組の重点 2

全校が一つのチームとなって、
「業務の適正化」を図る取組

(3) 目標達成のための方策の明確化

- ・ 分担すべき業務を考え、担当を明確にする。
- ・ 次の項目について、基本的には支援担任が行うようにしていく。



- ・ 時数集計 ・ 学年会計 ・ 学級園の運営
- ・ アンケート等の回収と集計
- ・ 宿題や家庭学習の準備と丸付け
- ・ テストの丸付けや点数打ち込み

学校力向上推進委員会

① 学校マネジメント

- ・ 学校の教育目標の実現に向けた中期、短期のビジョンの明確化と教職員、保護者、地域住民との共有
- ・ ビジョンの実現に向けた校内組織の工夫

- ・ 学校の検証改善サイクルの実質化、迅速化

研修部より

取組の重点 1

- ・ 若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な研修
- ・ 初任段階教員研修等を自校で実施
- ・ 放課後のテーマ別研修への他校の教員参加の積極的な受け入れ

- ・ 日常授業の改善に直結する校内研究（研修）の重点化

等

③ 教育課程・指導方法

- ・ 「カリキュラム・マネジメント」の確立
- ・ 学年ごとの最低限の到達目標を設定

- ・ 全学級における学習規律、生活規律の統一及び徹底
- ・ 各学年の学習内容の確実な定着を図る教育課程、指導方法

等

取組の重点 2

携

- ・ コミュニティスクールの積極的な導入
- ・ 児童生徒が勉強と向き合う時間の確保
- ・ 社会教育との積極的な連携、社会教育プログラムの活用
- ・ 休日や長期休業中等の補充的学習サポートの実施

等

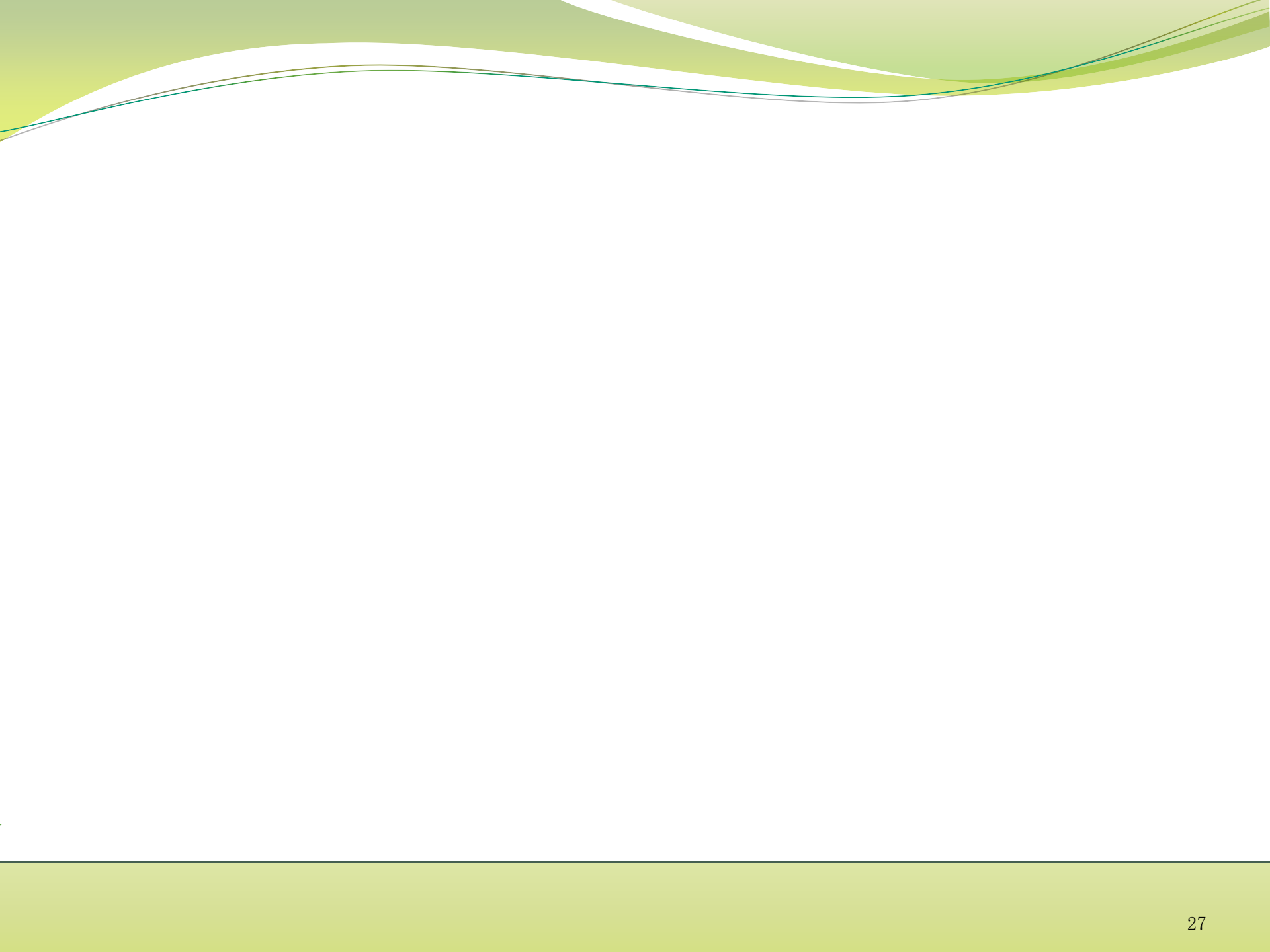
⑤ その他

- ・ 道立教育研究所、北海道教育大学教職大学院との連携

- ・ 学校における働き方改革「北海道アクションプラン」を踏まえた取組

- ・ 成果、課題の域内、王道への積極的発信

寺



名寄市教育研究大会 「名寄東小学校の研修の概要」

平成30年11月14日（水）

名寄市立名寄東小学校

研修部 佐藤 亮介

研修主題

「主体的・対話的で深い学び を実現する学習指導の工夫」

～授業構想シートを活用した

日々の授業づくりを通して～

研修主題設定の理由

①学校教育の今日的な課題

⇒H28・12の中央教育審議会の答申を踏まえた

新学習指導要領改訂から

②自校における課題

⇒学習の様子、全国学力・学習状況調査、NRT検査など

③自校の校内研修の経緯

⇒前年度までの成果と課題から

研修主題のおさえ

「主体的・対話的で深い学び を実現する学習指導の工夫」

学ぶことに**興味や関心**をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、**見通し**をもって粘り強く取組、**自己の学習活動を振り返って**次につなげる学び

研修主題のおさえ

「主体的・対話的で深い学び を実現する学習指導の工夫」

子ども同士の協働、教職員や地域の**人との対話**、
先哲の**考え方を手がかり**に考えること等を通じ、自
己の**考えを広げ深める**学び

研修主題のおさえ

「主体的・対話的で**深い学び**
を実現する学習指導要領「工夫」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して**考えを形成**したり、**問題を見いだして解決策を考え**たり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

求める児童像

日々の授業改善

教職員が感じている日常の子ども達の学習の様子から感じた実態

各種調査(全国学力・学習状況調査・NRT調査)から明らかになった実態

求める児童像

【児童像① 主体的】

物事の中から**課題**を見だし、**解決への見通し**をもって取り組む子

【児童像③ 対話的】

他者との交流から新たな**気づき**や**発見**をもち、考えを**深める**子

【児童像② 対話的】

自分の考えを、筋道立てて**記述**したり**説明**したりできる子

【児童像④ 主・対】

学習を**振り返り**、学ぶことの**価値**を見いだしたり、学びの**手応えを実感**したりする子

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

学習の様子や各種調査に基づいて、子どもの実態を把握する

全国学力・学習状況調査(H30・4実施)
N R T 調査(H30・4実施)

実態から、取り組みを具体化し
教科や学年を問わず、日常の授業改善を図る

【重点①】「求める児童像」を実現する指導の手立ての明確化

全国学力・学習状況調査(H30・4実施)からみえた課題

- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し 評価・改善する力などに関わる内容(**B問題**)に主に課題が見られる。

【国 語】

- ⇒与えられた条件を満たして書くこと(文字数、言葉や文の引用など)

【算 数】

- ⇒日常生活の事象を数学的に処理する問題の場面や設問を読み取ること
- ⇒示された考え方を解釈し、その考え方を適用しながら自分の考えを数学的に表現すること
- ⇒複数の情報を関連付けて考察し、数学的に表現したり、適切に判断したりすること
- 児童質問紙調査で、次の事項は全国・全道より低い傾向が見られた。
 - 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
 - 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
 - 社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「面白いな」などと思う。

【重点①】「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

NRT調査(H30・4実施)からみえた課題

- 学習の基礎となる知識及び技能の定着について、次の事項に課題が見られる。

国語⇒読むこと 算数⇒数と計算、数量関係

【重点①】「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

実態を踏まえ、次の3点から日常の授業改善を図る

- ①「主体的・対話的で深い学び」に向かう**具体的な子どもの姿**とその姿を**実現するための手立て**の明確化
- ②**問題解決的な学習過程**における、**求める学びの姿を実現するための手立て**の明確化
- ③問題解決的な子どもの学びのプロセスに、**自分の思いや考えを書く活動**を位置づける

【名寄東小学校の研修】

【重点①】「求める児童像」を実現する

単元・1単位時間の中
で取り組んでいく

具体的な学びの姿

「求める児童像」

学びの姿を実現するための手立て

【重点①】「求める児童像」を実現する指導の手立ての明確化

通常学級

通常学級における「求める児童像」	
主体的な学び	学びの姿を実現する手立て
求める児童像① 物事の中から課題を見だし、課題を解決しようとする子 その具体的な学びの姿は… ・物事の中から課題を見だし、課題を解決しようとする。	課題設定 ・子どもの学習経験や生活経験を踏まえて、課題を設定する。 ・課題を設定する。
求める児童像② 自分の考えを、他者と交流し、新たな気づきや発見をもち、考えを深める子 その具体的な学びの姿は… ・自分の考えを、他者と交流し、新たな気づきや発見をもち、考えを深める。	対話的学び ・自分の考えを、他者と交流し、新たな気づきや発見をもち、考えを深める。
求める児童像③ 学習を振り返り、学びの手応えを実感できる子 その具体的な学びの姿は… ・学習を振り返り、学びの手応えを実感できる。	振り返り ・学習を振り返り、学びの手応えを実感できる。

特別支援学級における「求める児童像」	
主体的な学び	学びの姿を実現する手立て
求める児童像① 集中して意欲的に学習に取り組む子 その具体的な学びの姿は… ・集中して意欲的に学習に取り組む。	学習環境の整備 ・子どもの興味・関心が高まるような教材を提示する。 ・活動の流れを提示し、学習の見通しをもたせる。 ・既習事項を確認して、これなら解決できそうと思えるようなヒントを提示する。 ・課題解決までの手順を明確に示す。
求める児童像② 学習を振り返り、学びの手応えを実感できる子 その具体的な学びの姿は… ・学習を振り返り、学びの手応えを実感できる。	振り返り ・挙手による確認、発言、ふりかえりシートなどを活用し振り返りを行う。 ・「勉強したこと」「できるようになったこと」など、視点を与えて学習を振り返る場面を設ける。
対話的学び 求める児童像③ 自分の考えや気持ちを表出している子 その具体的な学びの姿は… ・自分の考えや気持ちを表出している。	対話的学び ・言葉、視線、表情、身振り、指さし、教員の言葉を媒介にするなど、どの方法で伝えるのかを明確にする。 ・何について伝えるのかを明確にする。 ・わからないことを教員や友達に聞く・相談するなど、困った時の方法を伝える。 ・子どもの実態に合った話型や選択肢を提示することで、考えを表出させる。
求める児童像④ 他者の話を聞こうとしている子 その具体的な学びの姿は… ・他者の話を聞こうとしている。	対話的学び ・話し手に注目するよう促す。 ・聞く目的を明確にする。 ※確認する。対比する（共通点・相違点の発見）、参考に（発想を広げる）、よりよい考えを見つける。

特別支援学級

【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための 3 つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

- 支え合い高め合う集団づくり
- 子どもが落ち着いた雰囲気の中で学習に集中できる環境づくり

学校評価からみえた課題

- ⇒ 教職員アンケート「**全校体制で学習規律の定着**の徹底が行われているか。」について、集約結果の**ポイント**が下がった。
- ⇒ 名寄市学習のきまり10項目をもとにして作成された東小の学習規律であるがPDCAのサイクルを生かしながら、**実態に合ったスタンダード作り**が必要である。
- ⇒ 発達段階に合わせた話し方や聞き方の型、具体を交流したり示したりし、より**質の高い深い学び方につながる授業構築**が必要である。

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

実態を踏まえ、「学習の基盤づくり」を行うために 2 点の取組を行う

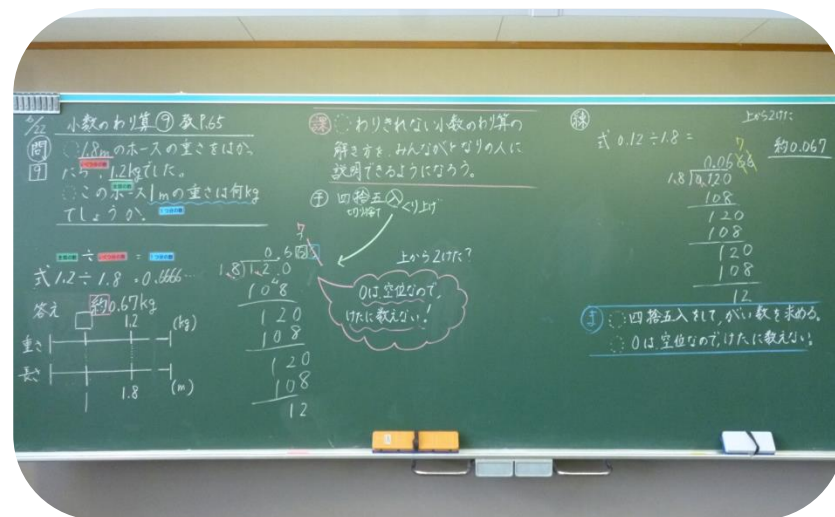
- ①名寄市で示されている「名寄市学習のきまり」を踏まえ、「**学びの土台づくり**」の手引きとなる「東小学びのスタンダード」を**作成**し、学年・学級の枠を超えて共通して指導する事項に明確にする。
- ②子どもの**理解力・記憶力**向上の取組として、**詩の暗唱活動**を行う。

【重点②】 「学習の基盤」づくり～東小学びのスタンダード

平成30年度版

学校力向上を目指して！

東小学びのスタンダード



【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

【全学年に指導する内容】

学年・授業者に関係なく同様の指導をすることで、学校全体の学習基盤を整えることができる

・板書 等

【子どもの実態に合わせて指導する内容】

- ・朝の会・帰りの会
- ・給食指導
- ・学習課程
- ・ノート指導
- ・宿題・家庭学習

**子どもへの定着度の確認
実態に合わせた内容の見直し**

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり～詩の暗唱活動

・子どもの**理解力・記憶力**向上をねらいとして取り組む

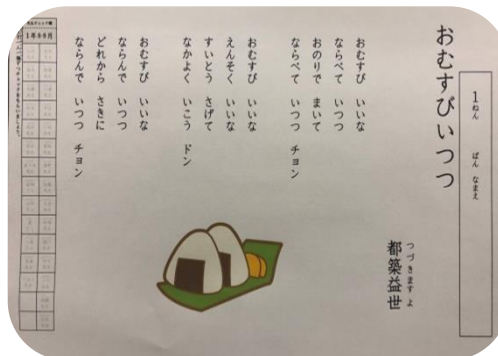
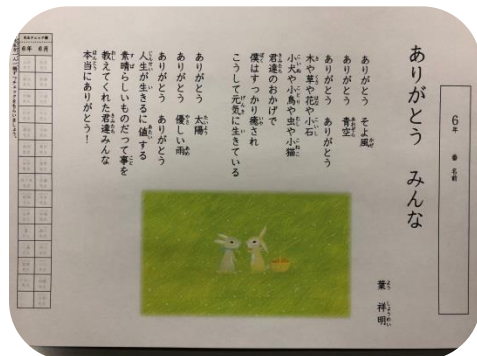
※言葉の理解力や文意をとらえる力を高める

※正しい発音の仕方や間の取り方を身に付けさせる

※多くの教員と関わることで、人前で話す自信やコミュニケーション能力を養う。



【重点②】 「学習の**基盤**」づくり～詩の暗唱活動



毎月、担任が実態に応じて詩を選ぶ



暗唱ができれば
サインやシールをもらう



暗唱を聞いてもらいに行く

【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修における運営上の課題

⇒全校研における授業協議会の成果が、**日々の授業改善に十分反映**されているか。

⇒多くの教員が授業を公開し、**相互に交流する場**があるか。研修主題や実践上の課題を意識して、**日常的に授業改善**に取り組んでいるか。

⇒校内研修会や授業協議会は、一人一人の教員が授業改善に役立てるための、**主体的な参加の場**となっているか。

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

課題を踏まえ、校内研修の運営を改善するために4点の取組を行う

- ① **授業構想シート**を活用した研修システムの構築
- ② 授業協議会の持ち方の工夫
- ③ 校内研修の進め方の工夫
- ④ 還流報告の工夫

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

授業構想シートを活用した研修システムの構築

⇒ **O J T (On the Job Training)** の理念

「実際の仕事を通して実践力を向上させる研修」の考え方に基づいたものである。

年間900時間近くある日々の授業を改善していくことこそが授業力向上につながり、子どもに確かな学力を育むために必要である。

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

授業構想シート【第 月 日(月)～ 月 日(金)の週】

月 日 校時 年生 教科()

1. 本時のねらい(身に付けさせたい資質・能力)※ゴールの具体化:何ができるようになっていけばいいのか

2. 本時の課題(めあて)

3. ねらいにせまる学習活動(言語活動)

①体験から感じ取ったことを表現する活動
②事実を正確に理解し伝達する活動
③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする活動
④情報を分析・評価し、論述する活動
⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する活動
⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる活動
⑦その他
☆具体化☆

言語活動のねらいを明確にすること!! 「何のために交流するのか」
○確認する ○参考にする(＝発想を広げる) ○結論を出す(＝検証する)
○対比する(＝共通点を見つける・相違点を見つける) ○意見を求める

4. まとめ

5. 振り返り(自己評価)の方法(できた・よかったを実感させる手立て)

①挙手 ②確認問題 ③文章による記述 ④キーワードを提示した記述・説明
⑤A・B・C等による自己評価 ⑥自己評価カード
⑦その他()

6. (授業者・参観者)から(前時の内容、授業の見所、良かった点、改善点、次時の課題など)

見通し()分
課題・解決の見通し()分
個人思考()分
集団思考()分
まとめ()分
振り返り(自己評価)()分

取組の当初は…

- ・本時のねらい
- ・課題、まとめ
- ・交流の目的の明確化
- ・時間配分 など

授業の骨格づくり

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

内容の見直しを重ね…

- ・単元の目標
- ・本時の目標
- ・具体的な学びの姿
実現するため手立て
- ・手立ての振り返り(授業後)
- ・板書計画

求める児童像を具現化するため

授業構想シート【第30週 11月12日(月)～11月16日(金)】

校時 年生 授業者 教科()

1 単元・題材の目標

2 本時(/)の目標

3 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像① 物事や現象を自ら観察し、 見聞き・感じ・思ふ		
児童像② 自分の考えを明確に表現し、 話し合ふ		
児童像③ 他者の考えや意見に 傾き、受け止める		
児童像④ 物事や現象に 自分の考えを表現し、 話し合ふ		

4 手立ての振り返り(授業後に記入する)

5 板書計画

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

特別支援学級用

【授業構想シート（特別支援）】【第30週 11月12日（月）～11月16日（金）の週】

授業者
場所
教科（ ）
月 日 校時 児童名 主眼書
1. 本時で取り組む内容

～個別学習～

- ・ **本時の重点**
- ・ **子どもの実態、行動の理由**
- ・ **強化させたいこと**
- ・ **集団・実生活への活用**
- ・ **手立て**
- ・ **振り返り(授業後) 等**

授業構想シート（交流学級用）【第30週 11月12日（月）～11月16日（金）】

校時 児童 支援者 教科（ ）

1. 本時の学習課題から学習組で決めたいこと

～交流学級～

- ・ **本時学習から求められる姿**
- ・ **子どもの実態、行動の理由**
- ・ **本時までに行ってきた支援**
- ・ **手立て**
- ・ **振り返り(授業後) 等**

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

⇒授業構想シートを用いて構想する。

①「求める児童像」に基づく、本時における「**具体的な学びの姿**」を明確にする。

②その学びの姿を**実現するための手立て**を、授業改善の視点から設定する。

授業構想シート【第1週 4月5日(木)～4月6日(金)】

校時 年生 授業者 教科()

1 単元・題材の目標

2 本時(/)の目標

3 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像①【主】 確かな基礎学力の習得 進んで学ぶ姿勢	①	②
児童像②【対】 自分の考えを伝え合う力 の育成		
児童像③【対】 他者の考えや感情に寄り添う 力の育成		
児童像④【主】【対】 問題解決力への向上 と、表現力の向上		

4 手立ての振り返り(授業後に記入する)

5 教書計画

通常学級

[illegible]

特別支援学級

特別支援学級における「求める児童像」		
	具体的な学びの姿 学びの姿を実現する手立て	
主体的な学び	求める児童像① 集中して意欲的に学習に取り組む子 その具体的な学びの姿は… ・学習対象に興味・関心をもっている。 ・学習課題を自分事としてとらえている。 ・学習のゴールを目指して、粘り強く取り組んでいる。	・子どもの興味・関心が高まるような教材を提示する。 ・活動の流れを提示し、学習の見通しをもたせる。 ・既習事項を確認して、これなら解決できそうと思えるようなヒントを提示する。 ・課題解決までの手順を明確に示す。
	求める児童像② 学習を振り返り、学びの手応えを実感できる子 その具体的な学びの姿は… ・振り返りを行い、「こんなことがわかった」「こんなことができるようになった」と自分の学びに気付いている。	・挙手による確認、発言、ふりかえりシートなどを活用し振り返りを行う。 ・「勉強したこと」「できるようになったこと」など、視点を与えて学習を振り返る場面を設ける。
対話的な学び	求める児童像③ 自分の考えや気持ちを表出している子 その具体的な学びの姿は… ・自分なりの思いや考えをもっている。 ・自分の考えを、相手に伝わるように話している	・言葉、視線、表情、身振り、指さし、教員の言葉を媒介にするなど、どの方法で伝えるのかを明確にする。 ・何について伝えるのかを明確にする。 ・わからないことを教員や友達に聞く・相談するなど、困った時の方法を伝える。 ・子どもの実態に合った話型や選択肢を提示することで、考えを表出させる。
	求める児童像④ 他者の話を聞こうとしている子 その具体的な学びの姿は… ・相手を見て話を聞いて、必要に応じて質問や発言をする。	・話し手に注目するよう促す。 ・聞く目的を明確にする。 ※確認する、対比する（共通点・相違点の発見）、参考にする（発想を広げる）、よりよい考えを見つける。などを行うために発言を可視化させる。

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【D】授業の実践 【C】評価

③低・中・高・特の各ブロックを中心に1ヶ月に1回程度**授業を交流**する。

(月末のブロック会議にて、その月の成果・課題、よく月の交流授業の日にちを決める)

④授業者および参観者は、**子どもの学びの姿**を見取り、**求める児童像を具現化**したものとなっていたか、そのための**手立ては妥当**であったかを**振り返り**、構想シートに記入する。

授業構想シート【第1週 4月5日(木)～4月6日(金)】

学年 校時 年生 授業者 教科 ()

1. 単元・題材の目標

2. 本時 (/) の目標

3. 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像①【主】 積極的な関与を促し、理解・表現を深める		
児童像②【対】 協働的に学び、互いの考えを深める		
児童像③【対】 協働的に学び、互いの考えを深める		
児童像④【主】 積極的な関与を促し、理解・表現を深める		

4. 手立ての振り返り(授業後に記入する)

5. 振り返り

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体



授業後には、コメントを記入して渡したり、直接意見や感想を伝えたりする

その週の授業構想シートは職員室内に掲示し、いつでも、お互いの授業を参観し合えるようにしている。

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【A】授業の省察

- ⑥授業構想シートに基づく授業実践後、成果や課題、改善事項を明確にする。それを「【P】授業の構想」に活かす

日常的に授業改善を行っていき、短いサイクルでのPDCAに取り組むことで「求める児童像」に迫ることができるようにしていく。

【名寄東小学校の研修】

授業における、見える子どもの姿から、
教職員一人一人が手立てを明らかにし
子どもを見る目を養い、日々の授業改
善に取り組んで行きます。



Thank you for your kind attention.